

ファクシミリ送付票

送付年月日	令和5年 月 日 () [締切：5月18日(木)]
あて先	千葉県立長生高等学校内 千葉県高等学校教育研究会数学部会事務局 菅根 彰宏 行 FAX 0475-22-3370
件名	令和5年度千葉県高等学校教育研究会数学部会 総会・春季研究大会 参加申込について
枚数	送付票を含めて 1 枚
取り扱い	後日送付 (<input type="checkbox"/> 無 ・ 有)
送付者	学校番号 () 学校名 () 氏名 ()

令和5年度千葉県高等学校教育研究会数学部会 総会・春季研究大会 に
1 参加します 2 欠席します (該当する番号を○で囲んでください。)

【参加する場合】

参加者氏名		
-------	--	--

【欠席する場合】

下記の委任状に、学校番号・学校名・数学科主任名を御記入ください。

委任状

令和5年度千葉県高等学校教育研究会数学部会総会の議事については、
議長に一任します。

学校番号 _____ 学校名 _____
数学科主任名 _____

◎研究委員・編集委員を希望される方は、御記入ください。

研究委員希望者氏名 ()

編集委員希望者氏名 ()

演 題 「統計教育のアウトライン」

講 師 一橋大学 教授 こばやし けんた 小林 健太 先生

講師プロフィール

2003年に京都大学理学研究科博士後期課程を修了。博士（理学）の学位を取得。以後、九州大学数理学研究院博士研究員、金沢大学理工研究域准教授、一橋大学商学研究科准教授を経て、現職。

専門は数値解析。関数解析や複素関数論などの数学理論や、精度保証付き数値計算などを用い、数値計算手法の誤差評価や信頼性評価を行ったり、効率の良い数値計算手法を開発したりすることに興味がある。

2014年に数値解析分野の国際的な賞である「Fifth R. E. Moore Prize」を受賞。他にも、日本応用数理学会論文誌の論文賞等、複数の受賞歴がある。



講演の概要

近年、統計教育が重要視されるようになり、小学校から高校まで、データに関する授業の導入が進んできています。しかしながら、データ関連の科目は従来の教育課程には長らく無かった科目でもあり、また、数学と統計の考え方の違いもあり、先生方の中には、これをどのように教えたら良いか苦慮されている方も多いかと思います。困難を感じる一つの原因として、統計という分野の中で中学や高校の授業がどう位置付けられているか見え難いというものもあるかと思います。そこで今回の講演では、大学の統計の授業で学習する、多変量解析、特に重回帰分析や主成分分析などについて分かり易く解説し、それらが実際にどのように応用され、また、それらに対して中学や高校の授業内容がどう関連していくのか、ということについて説明したいと思います。授業を行う上で、少しでも見通しが良くなれば幸いです。